

株式会社タカノ

平成25年度

■事業計画名

高性能溶接機導入による、医療機器用アルミニウム精密板金難溶接加工技術の革新

■概要

弊社はアルミニウムを中心に難溶接加工対応で医療機器の板金製品に求められる高強度化、軽量化、難接合部材の部材接合、製品の信頼性のニーズに対応してきた。今回はさらに、最新鋭のスポット溶接機、スタッド溶接機、レーザー溶接機を導入し、接合技術の高度化を図ることにより、この分野の事業拡大を目指す。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
情報処理
精密加工
接合・実装
- ＜事業類型＞ 成長分野型（健康・医療）
設備投資のみ

■成果

本事業において、溶接技術の高度化、軽量化、難接合部材の接合を設備導入により実施した。各課題に対し、成果を出すことができ、今後、医療分野への技術提供を行っていく。

3年後に、医療分野企業の売上の倍増を目標とし進めていく。

平成26年度

■事業計画名

高性能プレスブレーキ導入による、通し曲げ精度加工技術の革新

■概要

医療機器はグローバル化が飛躍的に進んでいるため高度化が加速している。

それに対応し、板金加工の高精度化、コストダウンといった生産プロセスの革新を図るため最新鋭のハイブリッドベンディングマシンを導入し、この分野のさらなる事業拡大を目指す。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
立体造形
- ＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

本事業において、曲げ加工におけるそりによる変形を低減させることができた。従来、そりは手にて修正を行っていたが、その作業を無くすことができ、大幅な工数削減により、コスト低減を可能とした。

本事業においては医療機器の搬送装置分野を対象としたが、今後、他の搬送装置分野へも営業展開を進めていく。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社タカノ（松本市）

積極的な設備投資により加工を「標準化」。
若手人材も高難度・高精度な板金加工に取り組む。

手がけるアイテム数は7,000～8,000

タカノは1972（昭和47）年、ガソリンスタンドの地下タンクなどの製造、据え付けを行う設備板金業として岡谷市に創業。その後、下諏訪の事務機器メーカー工場との取引によりNC板金加工機を導入し、精密板金加工にシフトしました。難しいといわれるステンレスやアルミの板金加工を数多く手がけていたことから、半導体、液晶などの分野にも進出。現在、OA・事務機器、半導体・液晶、医療・食品の各分野をバランスよく事業展開しています。



導入したアルミの板金加工機

「当社の製品アイテム数は7,000～8,000、平均ロットは10に満たない。板金は一つ一つ工程数も多く、それを管理するのは大変です。生産管理という点で、我々の業界はものづくりの最先端を行っていると思う」と高野泰大社長は胸を張ります。その一方で、つねに変化に対応していくために設備投資コストがかかるのが悩みです。

ものづくり補助金は「高性能溶接機導入による、医療機器用アルミニウム精密板金難溶接加工技術の革新」というテーマで採択。10年以上使っていた汎用機を最新のアルミ加工対応機械に更新しました。

「以前から機械を更新したいとは思っていましたが、汎用機のため、利益に直結しにくい加工であり、設備更新を悩んでいました。しかし、最新機械にはアルミ加工機能やすぐれた性能がある。ならば補助金を活用して、アルミ加工を標準化しようと申請を決めたんです」。

「以前から機械を更新したいとは思っていましたが、汎用機のため、利益に直結しにくい加工であり、設備更新を悩んでいました。しかし、最新機械にはアルミ加工機能やすぐれた性能がある。ならば補助金を活用して、アルミ加工を標準化しようと申請を決めたんです」。

加工の「標準化」を推進

古い機械は機械そのものの調整や条件出しが必要で、専任担当者のノウハウとなりがちです。同社ではすべての工程で設備投資に力を入れ、加工の「標準化」を推進。誰が担当しても高精度な加工ができる体制づくりを“技術力”にまで高めています。「最新機械の導入で専任者が不要になった。しかも、できる仕事が増え、売上げも計画以上に向上した。それが補助金を活用して最新機械を導入した大きなメリットでした」。

工ができる体制づくりを“技術力”にまで高めています。「最新機械の導入で専任者が不要になった。しかも、できる仕事が増え、売上げも計画以上に向上した。それが補助金を活用して最新機械を導入した大きなメリットでした」。

同社で印象的なのが、高野社長はじめ社員がみんな若いこと。

「会社の平均年齢は40歳、現場は36歳くらいでしょうか。採用活動をしていて感じるのは、若い子たちに食欲が戻ってきていること」と、自ら採用を担当する高野社長は若い人材に期待。大卒の新卒採用はここ数年控えていますが、長野高専からインターンシップを受け入れています。

同社では現在、臨空工業団地内に新工場を建設中で2016年1月完成予定。仕事は現在の受注でもう手一杯という状況ですが、社長を筆頭に5人が飛び回る営業活動の手は緩めません。

「営業5人で毎月仕事をいただくお客様約60社をカバーしています。さらに新規の仕事を含め、受注の拡大を図っていききたい。各方面から情報をもらいながら、直接足を運んで話を聞いていただけるよう努めています」。



製品の品質を守る品質保証部



株式会社タカノ

代表者 代表取締役 高野泰大
創業 1972（昭和47）年4月
資本金 1,000万円 従業員数 81名
所在地 松本市大字和田3967-73
TEL.0263-48-1500 FAX.0263-48-1501



事業内容 半導体、液晶製造装置、大型インクジェットプリンター、医療機器、食品機器などの総合板金加工